

津島市DX推進計画（概要版）1/2

位置づけ

第5次津島市総合計画に掲げる将来都市像である「～未来につなぐ～住んでみたい住んでよかったまち津島」の実現を、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の側面から加速させるための計画であり、その基本方針をあらわしたものです。本計画を第5次津島市総合計画実施計画にも反映させることで、本市のDXを推進します。

計画期間

令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
社会情勢の変化や国が策定する関連計画並びに本市の総合計画の進捗状況等を踏まえ、津島市総合計画実施計画と同様に、期間内で毎年度見直しを行うローリング方式とします。

目的

本計画では、システムの標準化やAI・RPAの利用促進等のデジタルの活用により、住民サービスの向上、地域産業の活性化、行政経営の更なる効率化を図ることを目的とします。

計画の背景

(1)外部背景

自治体のシステムは、ホストからオープン系システム、クラウドサービスと変遷してきました。そして現在、国はデジタル庁を創設し、自治体システムの標準化、行政手続きのオンライン化などを推進することで、自治体の情報システム費用の低減とICTによる行政サービスの品質を確保する流れとなってきています。

また、コロナ禍により密を避けながら生活や経済活動を維持するため、急激にデジタル化が推進されるようになりました。

(2)内部背景

急激な少子高齢化による、人口減・地域社会の担い手不足により、予算や職員数などの行政の経営資源が制約されてきています。その一方で、行政サービスに対するニーズは多様化しており、それらの対応に迫られています。

行政サービスの質を維持しつつ、多様化するニーズに対応していくためには、ICTを活用して事務の効率化を図り、地域課題の解決に人的・財政的な資源を集中していくことが求められています。

津島市DX推進計画（概要版）2/2

基本方針

(1) ICTを活用した地域活性化
 様々な施策分野においてICTを活用することによって、施策の飛躍的な充実や課題解決のスピードアップにつなげます。
 地域BWAシステムの整備を通じて、地域におけるICT活用の裾野を広げます。地域BWAシステムは、2.5GHz帯の周波数の電波を使用し、専用の周波数帯を利用することから、平時だけではなく、災害時でも安定した通信を確保し、地域の公共サービスの向上や公共の福祉の増進を目指すことが可能です。

(2) 電子自治体の推進
 行政手続きのオンライン化、マイナンバーカードの普及の促進などにより、行政サービス利用者の負担軽減や利便の向上を図ります。
 庁内業務のデジタル化、システムの標準化・共通化、AI・RPAの活用などにより、限られた経営資源の中で持続可能な行政サービスの提供と業務の効率化・高度化を図ります。

(3) ICTに対応する環境の整備
 ICTを活用した施策の推進やセキュリティ体制の強化に対応できる職員の育成や担当組織の拡充により、ICTや情報セキュリティへの対応の迅速化・充実化を図ります。

個別施策(一例)

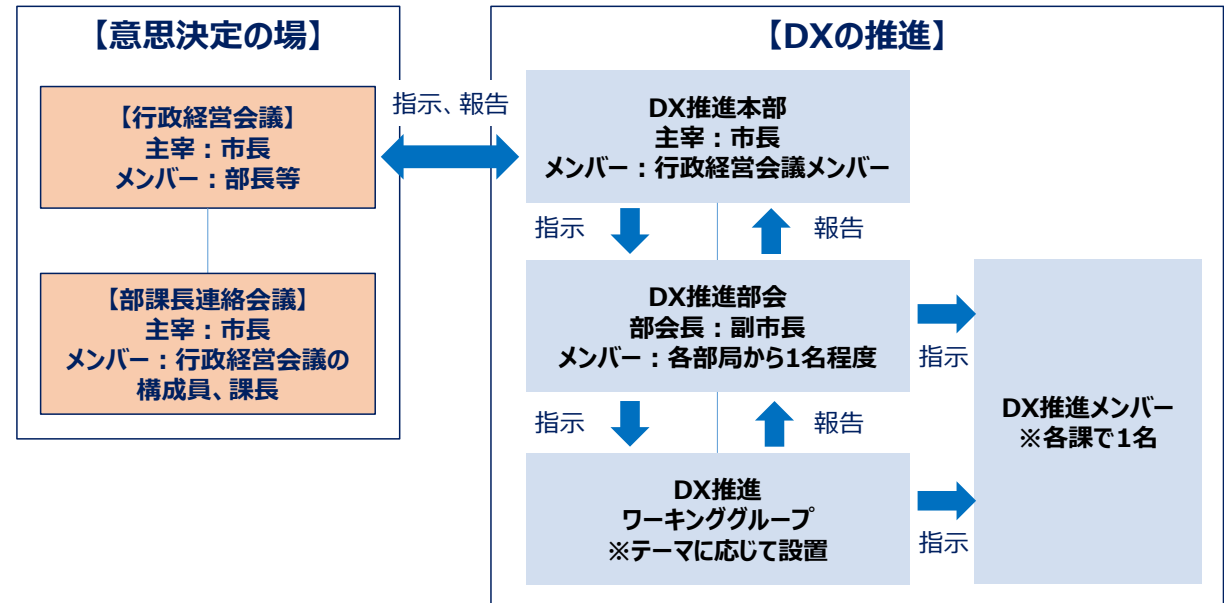
- (1) 観光DX
- (2) 防災DX
- (3) 手続きのオンライン化、キャッシュレス化
- (4) マイナンバーカードの利活用等

- (1) 自治体システム標準化・共通化
- (2) ペーパーレス会議
- (3) オンライン会議システム
- (4) テレワーク等

- (1) セキュリティ対策の徹底
- (2) 推進体制の整備
- (3) ICT-BCP(初動版)の作成
- (4) デジタル人材育成の整備等

推進体制

本計画を実施するために、DX推進体制を策定します。DXの推進は行政経営会議、部課長連絡会議と連携し、意思決定を確認しながら行っていきます。



DX推進本部	全庁的に関連する事項や部門横断的に関連する事項を主な検討対象とする
DX推進部会	具体的な施策を検討し、機動力をもって計画を推進する
DX推進ワーキンググループ	各課で調整が必要な各個別施策について、主管する部門を中心にメンバーを選定
DX推進メンバー	各課で1名任命し、DX推進の各課の窓口的役割を担う